学校番号	３１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を学ぶとは、何が美であるのかを探る行為を通して、物事の本質は何なのかを考えることである。
・作品の良さについては、実際に作品を制作しつつ国内外の様々な作家や作品から幅広く知識や技術を学び、自身の取り組みの意味や喜びを見つけて得た成長の成果とする。表現したいものや表現方法にこだわりを持って制作し、試行錯誤を重ねることで到達するものであり、表現の深さや強さとして表れ、作品の密度や完成度に結び付く。
・鑑賞においては、優れた作品に接して作者の制作意図や時代背景を学ぶことで、作品を見る目を養い、技術を知り、より深く表現活動や作品制作の意味を理解するものとする。また、自己の作品制作に求めるものを考える手立てでもある。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、歓声と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	絵画	「鉛筆デッサン(靴)」 ・自分の靴を描く ・デッサンの姿勢、描画材料の確認 ・構図、描く大きさについて ・陰影の表現、立体感の表現について ・質感や細部の観察および描写	a:正しい姿勢で構図や、大きさについて学習が活かされている c:細部までよく観察し、粘り強く描きこむことができている	作品		作品
	立体	「私の靴(段ボールの靴)」 ・段ボールという素材を使い実物大の靴を作る ・底の制作 ・側面、上部の制作 靴の厚みの違いや反りをよく観察し、段ボールの性質を踏まえて加工する。 ・紐、金具、ゴム底など靴の素材に合わせて、段ボールを揉む、薄く剥ぐ等の表現方法を工夫する。	a:靴の形や大きさを正確に再現できている b:靴の素材や特徴に合わせて段ボールを工夫して加工できている	作品	作品	
2	立体	「私の靴(段ボールの靴)」つづき ・彩色およびエイジング 靴の色を再現する 靴の質感や固有の使用感、汚れや傷みを加える	b:靴の素材感や特徴を再現できている		作品	
	鑑賞	・展示と鑑賞「私の靴」 自分の制作を振り返り、自分の作品と他の作品を比較して自分なりの感想をもつ。	c:制作の工程を把握できている。また、他の作品との比較や感想が書けている			レポート

	デザイン	「色彩」 ・色彩プリント①(1 年次)の復習 ・色彩プリント② 「カラーキューブ」 立体の明暗を色彩に置き換える ・色彩構成 色彩作品「りんご」 ・白黒のりんごの画像を 4 段階の明暗で分割し、配色を考える。 ・絵の具で塗る。	a:説明を理解し、正しい明暗で自在に配色ができている b:りんごの形状をより再現する分割線を工夫している。配色においても固有色にとらわれず豊かな色使いができている c:丁寧に作業できている	プリント	作品	作品
3	デザイン	「色彩構成」 ・指定枠内にモチーフを構成し、配色を考えて塗る。	a:2 学期に学んだことを活かした色彩構成ができている c:丁寧に作業できている	作品		作品
	鑑賞	「日本の美術」 ・美術Ⅰで学習した美術史を振り返り、日本の美術について掘り下げて時代別に学ぶ。 ・各時代の中で自分が気になった作品について学んだこと、調べたことを書く。 ・調べたことを発表する。 ・他の発表と比較し、感想を述べる。	b:様々な時代の芸術を知り、自分なりの感性で作品を選択し、感想や考えを文章にすることができる。 c:積極的に取り組むことができている。		レポート	発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度